

# ～神吉歓喜刊記～

第3号 令和7年1月28日発行

## 阪神・淡路大震災から30年

30年前の1995年1月17日 午前5時46分、淡路島北部を震源にマグニチュード7.3の巨大な地震である「阪神・淡路大震災」が発生しました。国内では、史上初めてとなった「震度 7」の揺れを記録。死者・行方不明者は 6434人となりました。

関西では1946年の南部地震を最後に地震が少ない時期に入っていました。それにより「関西では大地震は起こらない」という神話が広まっていた。そんななかでの巨大地震、誰も予想していなかったこの地震で、人々は心にも深い傷を負うことになりました。

地震は本当にいつ起こるかわかりません。「阪神・淡路大震災」での出来事について学び、今後起こるといわれている南海トラフ巨大地震にむけて自分たちにできることを考え、実践してみよう。



## 1.17のつどい

昨年は全校生徒が体育館に集まり行いましたが、今年リモートという形で「1.17のつどい」を行いました。校長先生の話や、生徒会執行部による「1.17希望の灯り」の報告会で、「阪神・淡路大震災」について学ぶことができ、今を生きる私たちにできること、それは何かについて考えることができました。

## 避難訓練



5時間目の授業中、南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練が行われました。放送が流れてから、全校生が素早くグラウンドに移動し、目標である5分以内に全校生が集合することができました。実際に地震が起こった場合も、訓練内容を振り返り、落ち着いて行動できるようにしましょう。

### 神吉中学校 1.17宣言

阪神淡路大震災から30年経った今  
私たちにできることはなにか  
震災で何が起きたのか知ること  
今ある時間を大切に生きること  
忘れないこと

なにか1つでもできることをしていこう  
支え合う心をもって生きていこう  
震災でなくなった方々や  
傷ついた方々の思いを知っていこう

その先に私たちがつくる  
明るい未来があるのだから

2025年1月17日 生徒会長

### 編集後記

執行部の活動が始まって約1ヶ月が経ち、大変なことばかりですが、とても楽しい毎日です！

新聞制作も順調に進んでおり、色々な企画を準備しているので、楽しみにしてください！

書記